

「授業備品」N095 1.1.11.10 「中グループが大きなホワイトボード上で構造化を図る考察」～

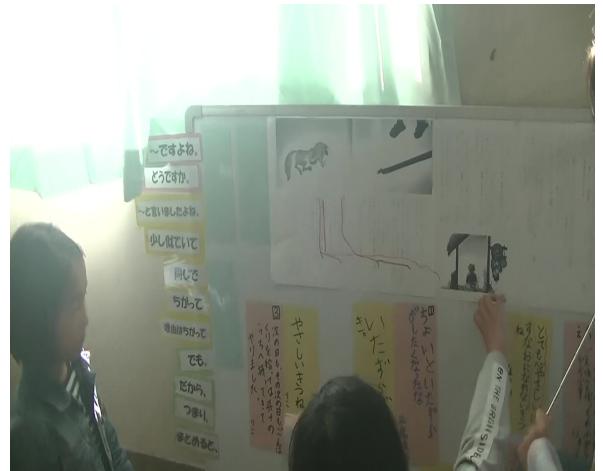
授業備品 N094 号で大きなホワイトボード上で構造化を図る考察を紹介した。進化した形として「中グループで大きなホワイトボード上で構造化を図る考察」をご紹介する。これまで、全員で最後の考察（練り上げ）を行うのが定番であった。この方法も一つの考察方法だが課題がある。数人の子が挙手をするが、必ず「隠れる子」が出てくる。特に C 層の子たちだ。その解決方法として、班（4 人）から中グループ（8～10 人）で考察を行う方法がある。全員活躍型の授業となるはずだ。ぜひ、試していただきたい。

1 国語（高知県 T 教諭 4 年「ゴンぎつね」1.10.31）

- ① 自力解決（ノートに自分の考えを書く・大きな付箋に自分の考えを書く。）
- ② ぶらぶらタイム（他の人のノートを見る。）
- ③ グループ学習（班で自分の考えを紹介し合う。）
- ④ 中グループ考察（8～10 人で大きなホワイトボード上で考察を行う。）

* ここからまとめ、振り返りにいく方法もある。

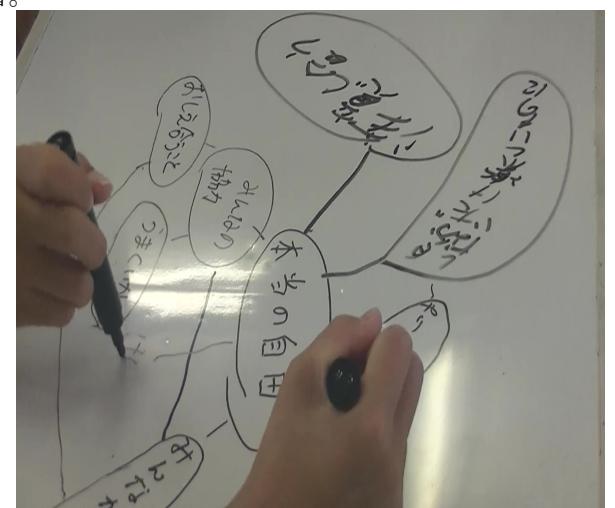
- ⑤ 1 分間、前に並んだ中グループ全部のボードを眺め、違いや似ている点を個人で把握する。
- ⑥ ペアや班で疑問や意見を再度話し合う。
- ⑦ 全員で質問し合いながら、必要に応じてペアや班で疑問点や意見を再度話し合う**考察**。
- ⑧ 教師の修正
- ⑨ まとめを書く。
- ⑩ 振り返りを書く



中グループで話し合うことにより、普段は話さない子供も仲間の前で発表ができた。何よりも「ワイワイ」しながら課題を追究していくので、全員活躍型の授業となった。

2 道徳（沖縄県 A 教諭 6 年「本当の自由とは」1.10.25）

- ① ペアで自分の考えを述べ合う。
 - ② 個人の「気づき」を発表し、教師がウエビング方法で板書。
 - ③ 教師が教科書を読む。
 - ④ 教材の内容をグループで話し合いをする。
 - ⑤ 見通し「教材の内容」を全体で確認をする。
 - ⑥ 課題の設定。
 - ⑦ 班でウエビング方法を使い中グループで大ホワイトボードに記入し、**考察**をする。
- * ここからまとめ、振り返りにいく方法もある。
- ⑧ ワールドカフェ方式で各班を回り、意見を記入する。
 - ⑨ 中グループで考えを大きな付箋に貼り全体に紹介をする。
 - ⑩ ペアを変え再度、自分の考え（まとめ）を伝える。
 - ⑪ 振り返りを書く。



道徳の授業には、①心情を追う受業 ②問題解決的な授業 ③体験を話し合う内容の授業がある。今回、問題解決的な学習の授業であった。子供たちが、自由にウエビング方法で意見を出し合い、ワールドカフェで意見集約を図る見事な授業となった。子供たちの笑顔あふれる授業が沖縄県で行われていた。思わず、凄いと言った。